

HEATER

アモルファスヒーターアモマット®

施工マニュアル

木造住宅・マンション共通

- ・本品は日本国内専用品です。床暖房以外の用途には使用しないでください。
- ・施工前には本施工マニュアルをよくお読みいただき、正しく施工してください。



工務店様

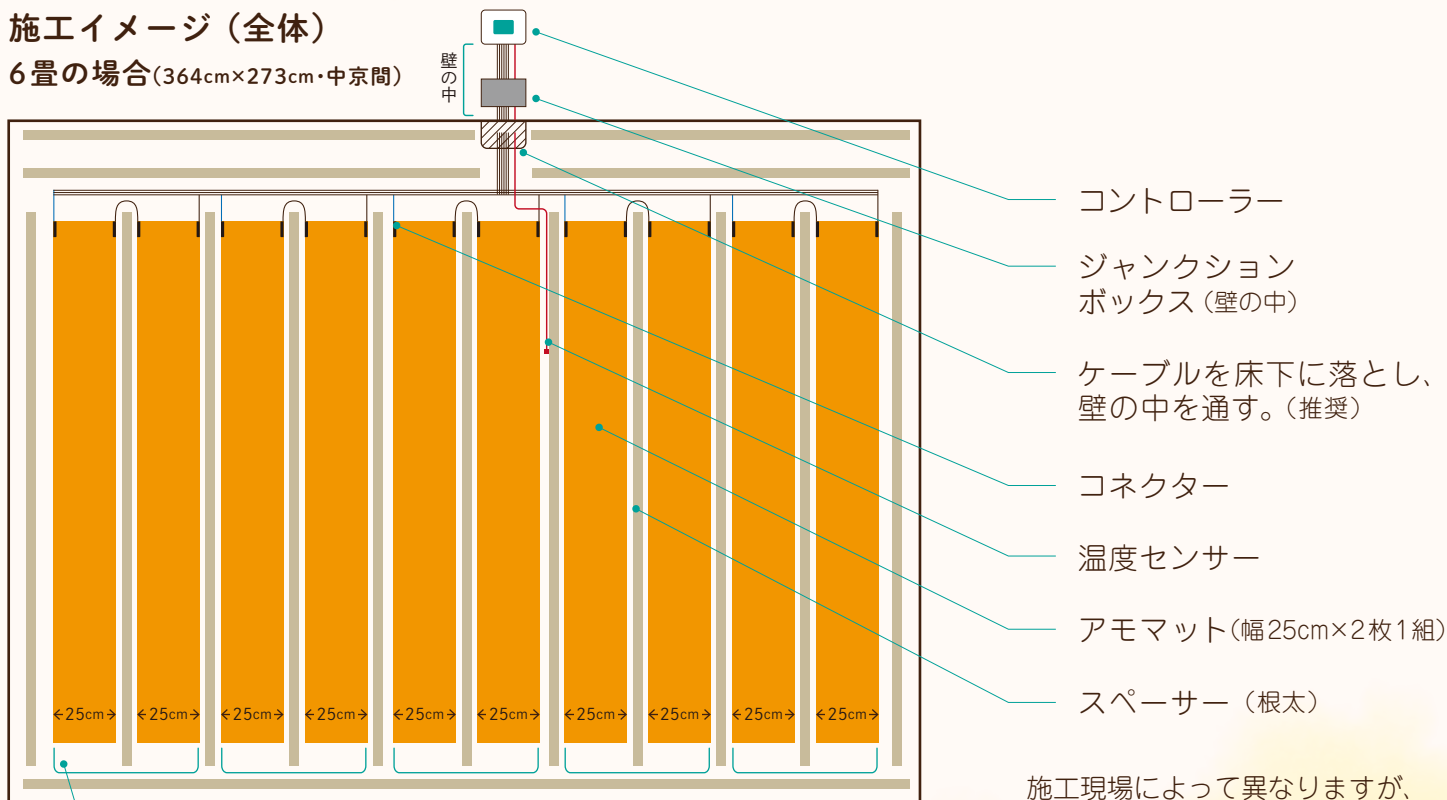
- ・アモマットの網部分はガラス繊維でできています。敷設の際、素手で作業を行うと小さなとげが刺さることがありますので、必ず手袋を用いてください。

電気工事店様

- ・本製品の電源は必ず専用分岐回路とし、定格電流 20A、感度電流 15mA の高速型過電流遮断機付き漏電ブレーカーを設置してください。
- ・電気工事士以外は本製品のための配線工事をしないでください。
- ・作業中に本製品の発熱部分及びケーブルを踏んで断線しないようご注意ください。

施工イメージ（全体）

6畳の場合(364cm×273cm・中京間)



アモマットは2枚1組となります。

施工現場によって異なりますが、イメージ図のような配置となります。

※木造住宅の場合、合板を使わず、根太の上に直接フロア材を貼ることも可能です。

メーカー支給

- ・アモマット
(床面積の50%~70%の敷設を推奨。)
- ・電気機器
(コントローラー、温度センサー)

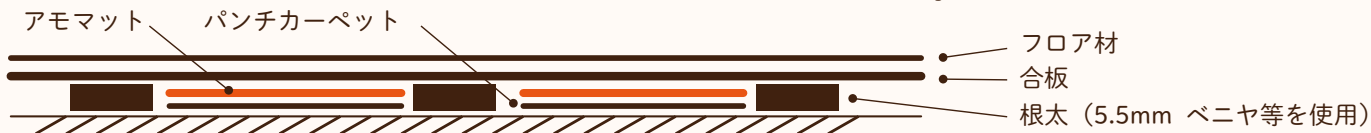
現地手配

- ・フロア材 12 mm厚
(マンションにはL45 対応品)
床暖房用を使用すること。
根太張り工法用、直張り工法用 共に使用可。
- ・構造用合板 12 mm厚/9 mm厚 (下記4 に従って下さい。)
- ・根太用ベニヤ 5.5 mm厚
- ・パンチカーペット (推奨) 3.8 mm厚

電気工専用

- ・ジャンクションボックス
- ・結線部品

断面図



1 根太の固定

5.5 mm厚のベニヤを 90 mmの幅に切って根太を作成します。

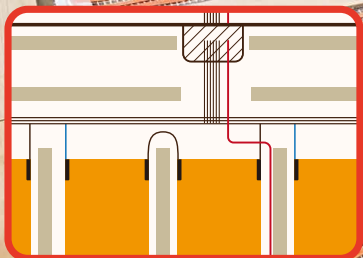
* 根太は床 (構造用合板 / コンクリート) の上に敷き、ボンド、タッカー、釘等で固定します。

* アモマットの上に構造用合板を敷く場合 (工程 4) には、根太の上に合板の端同士が並ぶようにあらかじめ合板の配置を考慮して根太を敷いてください。

2 アモマットの敷設

根太の間にアモマット (幅 250 mm) を敷きます。

- * アモマットと同じ大きさにパンチカーペットを切り、断熱材としてアモマットの下に敷くことを推奨します。
- * パンチカーペットの幅が 910 mm の場合は、4 等分すると 227 mm となり適切な幅となります。
- * アモマットのコネクター部分はパンチカーペットを切り取り、高さを均一化します



3 リード線を敷く

リード線をまとめて床上に配線します。適宜養生テープなどで固定します。

壁の中

ジャンクションボックス

* 木造の場合はケーブルを床下に落とし、壁の中を通してジャンクションボックスに結線するよう推奨します。

* アモマット 1 組ごとに電気抵抗と絶縁抵抗値を測定し、完成検査表に記入する。(電気作業工程 3 を参照)

4 合板を貼る

ボンド、タッカー、釘などを用いて合板(12mm/9mm厚)をアモマットの上、全面に敷きます。

- * パンチカーペットをアモマットの下に敷いた場合は、構造用合板を貼らずに直接、フロア材を貼ることができます。
- * 合板を釘で固定する際には、アモマットの金属部分を傷つけないように注意してください。

5 フロア材を貼る

12mm厚のフロア材をボンド、タッカー、釘などを使用して貼ります。

- * フロア材は床暖房対応のものを使用してください。* マンションの場合は L45 規格に適合したものを使用してください。
- * フロア材は直貼り工法用・根太張り工法用の両方が使えますが、パンチカーペットを敷かず、アモマットと根太の高さが均でない場合には根太張り工法用のフロア材の使用を推奨します。
- * フロア材の固定にタッカー、釘を使用する場合には、アモマットを傷つけないように注意してください。

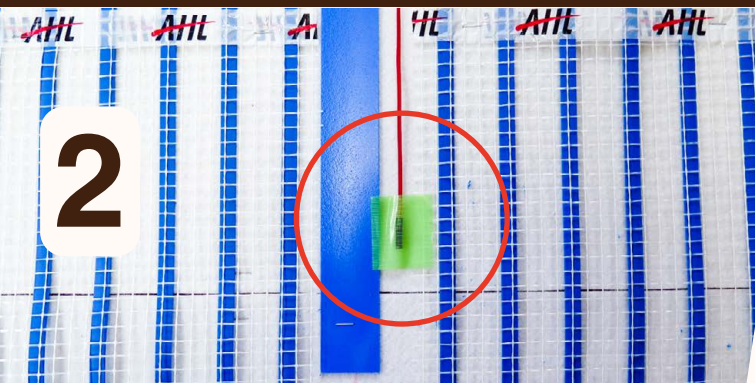
1



200V電源の引き込み。
コントローラー、ジャンクション
ボックスを設置する。

あらかじめ、ジャンクションボックス、コント
ローラーの設置位置を決めておいてください。

2

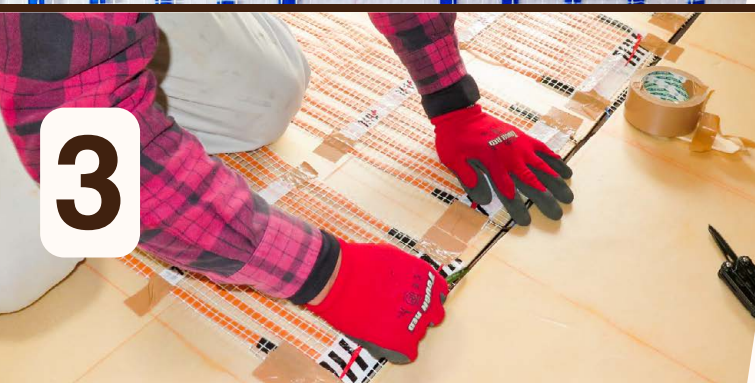


アモマットの敷設。

温度センサーの設置。

通常、人や物が床上に
長時間乗らない場所に設置してください。

3



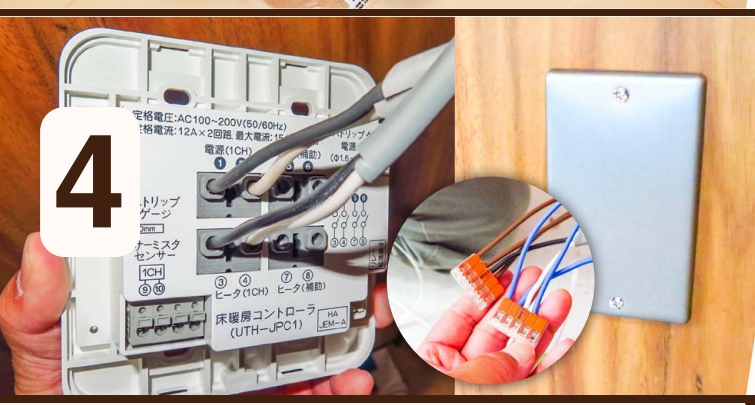
電気抵抗値、絶縁抵抗値の測定。

アモマット1組ごとに電気抵抗と絶縁抵抗値を
測定し、完成検査表に記入する。

リード線の配線。

ケーブルは養生テープ等で固定してください。

4



リード線をコントローラーに結線。
結線はジャンクションボックスを
使用し、壁の中で行うことが望ましい。

必要に応じて結線部品を使用してください。

お問い合わせは下記へお願いします。

作業終了後には完成検査表を作成してください。

アモルファスヒーター
専用ダイヤル



0120-07-4652

もしくはメール

info@amorphous-heating.jp



発
売
元

デンキで人を笑顔にする会社。Since1960
株式会社 カメダデンキ

〒570-0002 大阪府守口市佐太中町6-47-7
<http://www.eco-kameda.com/products/amorphous.html>



代理店